



南郷信用金庫の近況

平成27年9月30日現在

なんしん ミニディスクロージャー

2015(2015年9月期)

REPORT

ごあいさつ



理事長
阿部 政 廣

皆さまには、平素より「なんしん」をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

本年も当金庫についてのご理解を一層深めていただくため、半期ディスクローチャー誌「南郷信用金庫の近況」を作成しましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

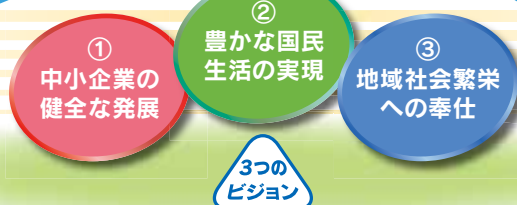
さて、当金庫は大正15年11月に創業以来、協同組織金融機関としての理念に基づいて、地域社会の発展と住民生活の向上を願い、地域に密着した経営を基本とした業務運営を行っております。

おかげさまで業績も順調に推移し、これも偏に会員をはじめお取引いただいている皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後も当金庫の経営理念に基づいた取組みを通じて、地域社会の「豊かな未来」を目指し、役職員一同、努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年11月

当金庫の基本的な考え方



経営理念

- ① 地域に根ざし、地域とともに歩むことを基本とする
- ② 明るい豊かな社会・経済・文化の発展に貢献する
- ③ 健全経営に徹し、地域に欠かせない金庫となる

経営方針

- ① 支援力・営業基盤の強化
- ② 経営力・内部態勢の強化
- ③ 組織力・人材力の強化
- ④ つなぐ力・総合力の強化

当金庫のプロフィール (平成27年9月30日現在)



創 立 大正15年11月17日
会 員 数 14,415人
出 資 金 4億66百万円
預 金 778億19百万円
融 資 363億5百万円

役職員数 115人
本 店 宮崎県日南市吾田東4丁目1番3号
店 舗 数 10店舗
営業地区 宮崎市・日南市・串間市

信用金庫の事業年度は、信用金庫法に基づき4月1日から翌年3月31日と定められており、正式な決算につきましては毎年3月31日に行っております。
「南郷信用金庫の近況」(平成27年9月30日現在)は、平成27年3月末の実績を基準にして9月末までに、それぞれの項目毎において増加・減少した数値を取りまとめたものであり、正式な決算によるものではありません。

1. 預金・貸出金の状況

■業績等の推移

(単位:百万円)

	平成27年3月末	平成27年9月末	平成27年3月末比増減
預 金 残 高	75,982	77,819	1,837
流動性残高	23,149	24,620	1,471
定期性残高	52,833	53,198	365
貸 出 金 残 高	36,252	36,305	53
預 貸 率	47.7%	46.6%	△1.1%

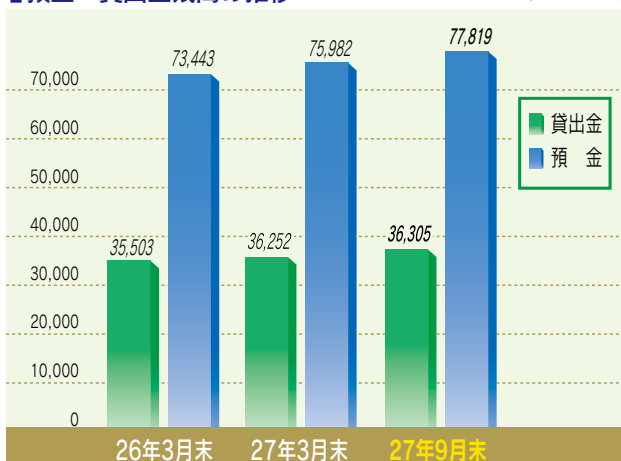
【解説】

預金については、平成27年3月末比で1,837百万円増加し、対前年同月比では1,382百万円増加しました。

貸出金については、地域経済の停滞により、資金需要の減退傾向が続く中、太陽光発電関連および個人向けローンの推進に努めた結果、平成27年3月末比で53百万円増加しました。

■預金・貸出金残高の推移

(単位:百万円)



業種別の貸出金残高と構成比

(単位:百万円、%)

	平成27年3月末			平成27年9月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	56	868	2.3	56	881	2.4
農 業、林 業	90	643	1.7	81	746	2.0
漁 業	26	263	0.7	23	161	0.4
鉱 業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建 設 業	151	1,651	4.5	146	1,458	4.0
電気・ガス・熱供給・水道業	11	491	1.3	10	487	1.3
情 報 通 信 業	—	—	—	—	—	—
運 輸 業、郵 便 業	9	169	0.4	8	128	0.3
卸 売 業・小 売 業	124	1,771	4.8	116	1,686	4.6
金 融、保 険 業	4	1,027	2.8	4	1,035	2.8
不 動 産 業	97	6,110	16.8	99	6,358	17.5
物 品 賃 貸 業	3	139	0.3	3	140	0.3
学術研究、専門・技術サービス業	8	50	0.1	6	40	0.1
宿 泊 業	11	820	2.2	12	786	2.1
飲 食 業	71	617	1.7	70	563	1.5
生活関連サービス業、娯楽業	30	396	1.0	28	414	1.1
教 育、学 習 支 援 業	5	49	0.1	4	43	0.1
医 療・福 祉 社	20	496	1.3	21	619	1.7
そ の 他 の サ ー ビ ス	69	894	2.4	67	965	2.6
小 計	785	16,462	45.4	754	16,518	45.4
地 方 公 共 団 体	5	4,263	11.7	5	4,113	11.3
個人(住宅・消費・納税資金等)	8,157	15,526	42.8	8,179	15,672	43.1
合 計	8,947	36,252	100.0	8,938	36,305	100.0

(注) 金額については、百万円未満を切り捨てて表示していますので、それぞれの合計金額は各項目の額と必ずしも一致しない場合があります。

2. 損益の状況

(単位:百万円)

項 目	平成27年9月末
経 常 収 益	828
業 務 純 益	128
コ ア 業 務 純 益	111
経 常 利 益	116
当 期 純 利 益	90

*コア業務純益とは業務純益から一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた金額に一般貸倒引当金を加算した金庫の本来業務での収益力を表す指標です。

*上記計数につきましては、監査法人による監査を受けておりません。

【解説】

取引先の経営改善支援の強化及び不良債権の新規発生防止に努めた結果、経常利益を116百万円計上しました。

また、当期純利益を90百万円計上し、健全な経営を維持できる収益を確保することができました。

自己資本の状況

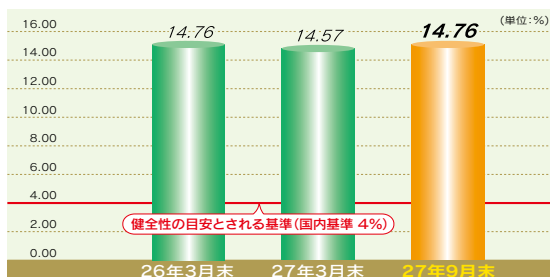
自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性をはかる重要な経営指標のひとつです。
信用金庫など国内で業務を行う金融機関は、4%以上の自己資本比率が求められています。
当金庫の自己資本比率は14.76%となっており、国内基準を大きく上回る堅実な水準となっております。

自己資本比率 (国内基準)

(単位:百万円)

項 目	平成27年3月末	平成27年9月末	平成27年度増減
自 己 資 本 の 総 額	5,137	5,231	94
リスク・アセット等の合計額	35,259	35,435	176
自 己 資 本 比 率	14.57%	14.76%	0.19%

自己資本比率



【解説】

- 自己資本の総額は平成27年3月末に比べ、94百万円増加し、対前年同月比では183百万円増加しています。
- 自己資本比率は、平成27年3月末に比べ、0.19%増加し、対前年同月比では0.37%増加しています。
- 自己資本の総額は、5,231百万円となっており、
総所要自己資本額1,417百万円を大幅に上回っております。
(総所要自己資本額 = リスク・アセット等の合計額 × 4%)

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の総額}}{\text{信用リスク・アセット} + \text{オペレーショナル・リスク・アセット}} = 14.76\%$$

(注) ①自己資本比率算出法は「出資金」、「諸積立金」などの自己資本の総額を分子として、「資産のリスクに応じて算出(資産 × リスク・ウエイト)したリスク・アセット合計額」及び事務事故、システム障害等で損失が生じるオペレーショナル・リスクを分母として算出されます。
②金額については、百万円未満を切り捨てて表示しています。

バーゼルⅢに係る定量情報

■ 1. 自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	平成27年3月末		平成27年9月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	5,022		5,117	
うち、出資金及び資本剰余金の額	467		466	
うち、利益剰余金の額	4,564		4,651	
うち、外部流出予定額 (△)	9		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	104		106	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	104		106	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置 (自己資本比率改正告示附則第3条第7項) により コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、 経過措置 (自己資本比率改正告示附則第4条第3項) によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置 (自己資本比率改正告示附則第5条第5項) によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	11		8	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	5,138		5,232	
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	1	4	0	3
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	1	4	0	3
繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	—	—	—	—
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	—	—
自己保有普通出資等 (純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—	—	—
特定項目に係る10%基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る15%基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	1		0	
自己資本				
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	5,137		5,231	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	32,630		32,806	
資産 (オン・バランス) 項目	32,133		32,317	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 2,645		△ 2,552	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、無形固定資産 (のれん及び モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)に係るものの額	4		3	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、繰延税金資産に係るものの額	—		—	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、前払年金費用に係るものの額	—		—	
うち、他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置 (自己資本比率改 正告示附則第12条第5項又は第6項) を用いて算出したリスク・アセットの額から経過措置を用いず 算出したリスク・アセットの額を控除した額	△ 2,679		△ 2,577	
うち、上記以外に該当するものの額	29		21	
オフ・バランス取引等項目	495		487	
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	1		1	
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	0		0	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	2,629		2,629	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	35,259		35,435	
自己資本比率				
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	14.57 %		14.76 %	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係る算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

2.有価証券の時価情報

(1) 売買目的有価証券 売買目的の有価証券は保有しておりません。

(2) 満期保有目的の有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成27年3月末			平成27年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	728	761	33	450	470	20
	小 計	728	761	33	450	470	20
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	100	97	△2	200	194	△5
	小 計	100	97	△2	200	194	△5
合 計		828	858	30	650	665	14

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(3) その他保有目的の有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成27年3月末			平成27年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	15,377	14,997	380	16,196	15,789	406
	国債	3,100	3,002	98	3,113	3,000	113
	地方債	3,809	3,699	109	4,107	3,989	118
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	8,468	8,295	172	8,975	8,800	175
	その他	3,233	2,894	339	2,680	2,432	248
	小 計	18,611	17,891	719	18,877	18,222	654
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	1,185	1,190	△4	481	484	△2
	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	99	99	△0	99	99	△0
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	1,086	1,090	△4	381	384	△2
	その他	254	260	△6	625	643	△18
	小 計	1,440	1,450	△10	1,106	1,127	△21
合 計		20,051	19,342	708	19,983	19,350	633

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(4) 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの

該当する株式はありません。

(5) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成27年3月末	平成27年9月末
	貸 借 対 照 表 計 上 額	貸 借 対 照 表 計 上 額
市 場 価 格 の 無 い 株 式 7 社	1 1	6 4

【解説】

国内債券におきましては、市場金利が低下したことから403百万円の評価益となり、外国証券や投資信託におきましては、株価の上昇や円安の影響により、評価益は229百万円となり、合計では633百万円の評価益となりました。

【債券の利回りと時価の関係】

債券市場において、利回りが上昇すると債券の時価は下がり、含み益が減少（含み損は増加）します。

また、逆に利回りが低下すると債券の時価は上がり、含み益は増加（含み損は減少）します。

金融再生法によるリスク債権

金融再生法に基づき開示された債権であり、当金庫の場合、貸出金のほか債務保証見返、未收利息、仮払金を含んだ債権です。

金融再生法開示債権及び保全状況

(単位:百万円)

	平成27年3月末					平成27年9月末				
	総与信額	保全状況			保全率	総与信額	保全状況			保全率
		担保・保証	貸倒引当金	計			担保・保証	貸倒引当金	計	
破綻更生債権及びこれに準ずる債権	875	678	196	875	100.0%	887	656	230	887	100.0%
危 険 債 権	736	502	128	631	85.7%	701	457	134	592	84.3%
要 管 理 債 権	420	201	61	263	62.6%	404	196	70	266	65.9%
金融再生法上の不良債権計	2,032	1,382	386	1,769	87.1%	1,993	1,311	435	1,746	87.5%
正 常 債 権	34,873	不良債権比率 5.51%				34,803	不良債権比率 5.42%			
合 計	36,905					36,797				

※単位未満切り捨てのため合計が一致しない場合があります。

【解説】 当金庫では、経営の健全性を堅持するため、自己査定基準に則った自己査定を実施し、厳正な債務者区分の見直しを行っております。また、不良債権につきましては、十分な引当金を計上しており、安全性を確保できている内容と考えております。

地域密着型金融の取組み

当金庫では、地域経済の活性化や中小企業の金融円滑化に向け、中期経営計画『なんしんスクラム強化3か年計画』を策定し、以下を主要な柱として各種施策に取り組んでおります。

《中期経営計画『なんしんスクラム強化3か年計画』(平成27年4月～平成30年3月)》

1. 支援力・営業基盤の強化
2. 経営力・内部態勢の強化
3. 組織力・人材力の強化
4. つなぐ力・総合力の強化

○経営改善支援の取組み

平成27年度は、経営改善支援先として22先に対し改善計画の策定支援、改善アドバイス及び融資条件の変更等に積極的に取組み、財務内容の改善に努めております。

■経営改善支援等の取組実績一覧表

【27年4月～27年9月】

[27年4月～27年9月]

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数					経営改善支 援取組比率	ランクアップ 率	再生計画 策定率
		うち経営改善支援 取組み先数	αのうち期末に債務者区分 がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分 が変化しなかった先数	αのうち再生計画を 策定した先数			
			β	γ	δ			
A	α				α/A	β/α	δ/α	
正 常 先 ①	568	0		0	0	0.0		0
要注 意先 うちその他要注意先 ②	155	17	0	0	0	10.9	0	0
うち要管理先 ③	5	1	0	0	0	20.0	0	0
破綻懸念先 ④	23	4	0	0	0	17.3	0	0
実質破綻先 ⑤	23	0	0	0	0	0.0	-	-
破 綻 先 ⑥	8	0	0	0	0	0.0	-	-
小計(②～⑥の計)	214	22	0	0	0	10.2	0	0
合 計	782	22	0	0	0	2.8	0	0

※債務者数、経営改善支援取組先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含まれておりません。

○金融円滑化への取組み

地域の中小企業及び個人のお客様に対して、必要な資金を迅速かつ安定的に資金供給することは地域金融機関として最も重要な社会的使命であり、役割のひとつであると認識しています。今後もお客様からの資金需要や貸出条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様にお客様の問題点を十分に把握したうえで、その解決に真摯に取り組んでまいります。なお、金融円滑化に係る詳しい取組状況及び実績等につきましては、金庫ホームページまたは営業店窓口で縦覧ください。

◇再生支援の取組み

平成27年度上期における再生支援については、中小企業再生支援協議会及び経営改善支援センター、みやぎきフードビジネス相談ステーション等と連携し、6先について事業再生に向け取組み中です。

◇多重債務者問題への取組み

多重債務に悩むお客様からのご相談に対応するため、「おまとめローン」の取扱いを行っております。また、電話(平日9:00～18:00)及び営業時間外(毎週火、木15:00～19:00油津支店、北郷支店)にローン相談窓口を設置し、相談し易い態勢を整備しております。

◇お客様満足度向上への取組み

金庫内ロールプレイング大会を開催し、接遇マナーの向上や説明態勢の強化に努めるとともに、多様なローン相談窓口を開設し、利便性の向上に努めています。また、優遇金利定期預金や低金利ローンの取扱いなど、お客様のニーズに応えられる商品の提供を心がけております。

今後もアンケート調査等により、お客様満足度を把握するとともに、お客様に満足いただける商品開発やサービスの向上に努めてまいります。



よろず支援事業勉強会



夜間ローン相談窓口



ロールプレイング大会

CSR(企業の社会的責任)への取り組み

当金庫は、地域金融機関として経済的な貢献活動に止まらず、社会的・文化的な貢献活動にも積極的に取り組むことが重要と考えており、以下の取り組みを行っております。



「エコみらい定期」の取り組み



「エコみらい定期」の取り組み



地域美化推進運動



グランドゴルフ大会の開催

環境問題への取り組み

- 「エコみらい定期」の発売
小中学校の環境問題への取り組み支援
- 「エコ・カーライフプラン」の発売
- 「エコ住宅」の住宅ローン金利優遇
- 「エコ・リフォームローン」の発売
- クールビズ、ウォームビズの実施
- 電力使用量削減への取り組み

その他の主な取り組み

- 視覚障がい者に配慮した金融サービスの提供
- AED(自動体外式除細動器)の設置
- 地域で開催されるイベントや祭りへの参加、協賛金の提供
- 店舗周辺道路の清掃、公園・広場の美化活動
- ボーイスカウト活動への支援 など

※CSR(Corporate Social Responsibility)地域貢献や社会貢献等の社会的な行動を通じて、企業としての責任を果たし、社会から信頼を得ていくことです。

トピックス TOPICS

日南共創活性化プロジェクトについて ～活力ある商店街づくりに向けて～

本年7月から、地元商店にご参加をいただき、商店街の集客力アップや地域のお金が回る仕組みづくり、いわゆる「地域マッチング(地域おこし)」の取り組みを開始いたしました。

その主な取り組みは、当月に創刊したオリジナル情報誌「しんさん感」を定期的に発行し、地域のイベント紹介やお得な生活情報の提供、有利な金融商品のご案内を継続的に発信しております。

さらに、職域サポート制度で契約の従業員様やご家族を対象に、加盟店を利用されると、誕生日特典が受けられる「地域応援パスポート」の発行を行っておりますので、活動の趣旨にご賛同いただき、是非ともご利用賜りますようお願いいたします。

今後も、こうした活動を通じて活力ある街づくりに向け、積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



福利厚生への提供



喜ぶ

- ・地元のサービスがお得に
- ・未経験のサービスを受けられる
- ・自分たちにあった情報が得られる

家族サービスの実現



企業

- ・福利厚生を充実させられる
- ・社員が喜ぶ
- ・地域のお店を支援できる



南郷信用金庫

- ・取引先と取引先をマッチングさせることができる
- ・取引先とその社員、そしてご家族までも喜ばせることができる
- ・低コストで経済効果、宣伝効果を期待できる



家族

- ・お得なサービスを受けられる
- ・家族サービスが充実する
- ・お子様や祖父母も喜ぶ



誕生日特典の提供



喜ぶ

- ・お客様に喜んでもらえる
- ・知ってほしい人に周知できる
- ・新規開拓ができる

お得な地元の買い物

なんしん 個人ローンのご案内

各種ローンをご用意しております。
お気軽にご相談ください。

カーライフプラン

特別金利摘要条件
ミニ・カードローン
(極度額50万円)の
ご契約が条件となります。

固定
金利

年 **1.0** %

販売金額に達した時点で
販売を終了させて
いただきます。

保証料
別途

- ご融資期間／3ヵ月以上10年以内（元金返済据置は6ヵ月以内）
- ご融資金額／500万円以内（1万円単位）
- お使いみち／新車購入、中古車購入、バイク購入、パーツ・オプションの購入・取付、免許取得、車検・修理、自動車保険、車庫設置、自動車購入資金の借換（申込人本人が借入したローンに限る）などの資金（ただし、営業用車輛や個人から購入する車輛は除きます。）
- 保 証 料／別途支払いとなります。

教育プラン

固定
金利

年 **2.73** %

【保証料込み】

- ご融資期間／3ヵ月以上10年以内（元金返済据置は卒業予定月まで）
- ご融資金額／500万円以内（1万円単位）
- お使いみち／学校（教育施設）に入学または在学するために必要な資金（例）学校納付金、下宿費用、引越費用、留学費用、教育関連資金の借換
- 保 証 料／金利に含まれます。

最長**10年**までご融資可能！ キャンペーン期間 平成27年**4月1日**(水)～平成28年**3月31日**(木)

店舗のご案内

営業店自動機コーナー

地 区	店 舗 名	住 所	TEL	FAX	ATM		
					平 日	土・日・祝	振込機能
日南地区	本 店	日南市吾田東4-1-3	0987-23-1211	0987-23-1333	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	目井津支店	日南市南郷町中村乙2536口/1	0987-64-1131	0987-64-1202	9:00～20:00	9:00～17:00	有
	駅前支店	日南市南郷町東町18-5	0987-64-1133	0987-64-1654	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	油津支店	日南市園田2-1-25	0987-23-5315	0987-23-5316	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	飢肥支店	日南市飢肥2-12-1	0987-25-1101	0987-25-1102	8:00～20:00	9:00～17:00	有
	大堂津支店	日南市大堂津3-5-18	0987-27-0149	0987-27-1337	9:00～20:00	9:00～17:00	有
	北郷支店	日南市北郷町郷之原乙1429	0987-55-2222	0987-55-2223	8:00～20:00	9:00～17:00	有
串間地区	串間支店	串間市大字西方6556	0987-72-0401	0987-72-1301	8:00～20:00	9:00～17:00	有
宮崎地区	木花支店	宮崎市大字熊野10152-4	0985-58-1155	0985-58-1124	9:00～20:00	9:00～17:00	有
	田野支店	宮崎市田野町甲2877-14	0985-86-2333	0985-86-2334	9:00～20:00	9:00～17:00	有

店舗外自動機コーナー

日南地区	日南ショッピングセンター	日南市材木町1番	無	無	9:30～20:00	9:30～19:00	無
串間地区	北方自動機コーナー	串間市大字串間1460-4	無	無	9:00～20:00	9:00～17:00	有
	本城自動機コーナー	串間市大字本城6043-1	無	無	9:00～18:00	休 止	有

◆当金庫へのお問い合わせについて

- 当金庫に対するご意見・ご要望がございましたら、下記の相談窓口までお気軽にご連絡下さい。
南郷信用金庫「お客様相談室」 TEL0987-21-1115 FAX0987-21-1118

【URL】 <http://www.shinkin.co.jp/nanshin/> フリーダイヤル 0120-881-992



みんななかよし 親近 ハートフル なんしん

南郷信用金庫

〒887-0041 日南市吾田東4丁目1番1号
TEL.0987-21-1115 FAX.0987-21-1118
<http://www.shinkin.co.jp/nanshin/>